

10分に1人子ども死亡

WHO報告 ガザ即時停戦を

【ロンドン＝島田謙隆】国連安全保障理事会は2日、公開会合を開き、「イスラエルが攻撃を強めるパレスチナ・ガザ地区の医療状況について」議論しました。世界保健機関（WHO）のトドロス事務局長は、病院や救急車への攻撃が続いているか「10分に一人の調査で子どもが死んでいた。ガザの医療は崩壊寸前だ」と述べました。

↓関連⑤面

トドロス氏は医療への10件以上の攻撃を行い、病院たり、がん、糖尿病、報告で、10月7日の戦闘開始の半数は全く機能していない。高血圧の治療や妊娠・出産始以来、イスラエル軍ががない状態だと指摘。医薬品の対応できなくなったり人の保護を定めた国際人間法の医療施設も壊滅した。不足で麻酔なしの手術が行なっており。トドロス氏は道徳の順守と停戦を要求したといふのか。世界はどうしてクリスマスは一方400

「スルジヤホウヒン」であり、それが安全ではない」と強調しました。

トドロス氏は「ガザの人間たちは、戦闘に責任がない

人々は、戦闘に責任がない

にもかかわらず私たちの想像力には及ばないほど苦しくて

ルワン・シカ!事務局長は、パレスチナ赤新規社のマ

ルwan・シカ!事務局長は、彼の命じられぬむ無闇心

0人が避難していますが、燃料不足で主要な発電機が

彼らの命じられぬむ無闇心

なか」と叫んで訴えました。

2日前と停止しました。シカ!氏によるとアル

クニ氏は「集中治療室の患者や保育器の赤ちゃんが全員亡くなれる危険がある」と

イスラエルによる攻撃や封鎖を批判しました。

シカ!氏は安保理と国際社会に対し、効果的な即時停戦を実施し、燃料など人道支援物資を搬入する。国際人道法を順守し、ガザ全土で医療従事者や民間人を保護するなどを要求しました。



イスラエルの攻撃によって負傷し、麻酔なしで傷口の縫合を受けたパレスチナ人の少女=8日、ガザ市のシファ病院（ロイター）